地域別重点施策に係る施策取組状況評価

【県中地域】

施策の展開方向	重点施策	県の評価（概要）	
		施策を推進する上での主な課題	主な今後の取組みの方向性
未来を拓き、地域の活力を支える産業の集積と高度化 高度技術産業の振興や多様な就 業機会の確保、人材の育成を図ると ともに、収益性の高い農林業の実現や農商工連携による高付加価値化、地産地消を推進します。	① ハイテクプラザや農業総合センター、(財)福島県産業振興センター、県内大学などの連携による広域的な産学官ネットワークを活用した共同研究・新事業創出への支援や戦略的な企業誘致を進めます。	◆中長期的な視点からの共同研究・新事業創出への対応。 ◆立地企業のフォローアップ。	◆特異な技術を持つ中小企業を掘り起こし、共同研究・新事業創出への支援を行う。 ◆企業訪問などを通して、立地企業のフォローアップを行うとともに、交流の場の設定など企業間連携促進等を図っていく。
	② 日本大学工学部やテクノアカデミー郡山、地元工業高校などとの連携の下、常に変化し続ける高度技術産業や地域産業に柔軟に対応できる人材育成を図ります。	◆高度な知識・技術を備えた人材育成のためのプログラム開発。	◆将来の地域産業を支える柔軟な能力のある産業人の輩出を目指し、幼少期から産業技術に触れる機会の増加に努める。
	③ 農林産物の需給動向を踏まえながら、水田のフル活用や園芸作物の生産拡大などにより収益性の高い農林業を実現していくほか、食品関連・加工企業が多く立地し消費者が多い本地域の利点を生かしながら、農商工連携による高付加価値化や農産物直売所を拠点とした地産地消を推進します。	◆地域産業６次化に関するネットワーク化、人的交流・連携推進・情報の収集発信、各種商品開発・販売促進。	◆農商工連携や６次産業化による商品開発を進めるとともに、道の駅や農産物直売所等の販売チャンネルの利用などにより販売促進を図る。
「福島空港」と地域資源を活用した交流人口の拡大 福島空港の利用促進を図るとともに、多様な地域資源を有機的に連携させた広域観光や物流機能の強化を推進します。	④ 国際・広域交流機能の要である福島空港の活性化のため、地域と一体となった利用促進や県民の空港として親しむことができるにぎわいづくりに努めます。	◆福島空港の優位性のＰＲとより利用しやすい路線とするためのニーズの把握。	◆関係団体等の意見を聞きながら、より効果的な福島空港のＰＲに努めていく。
	⑤ あぶくま高原道路などの高速交通体系の利活用や地域のまちづくりと一体となった道路整備を進め、三春滝桜などを代表とする地域資源を有機的に連携させた広域観光や物流機能の強化を推進します。	◆高速交通体系の利活用、まちづくりと一体となった道路整備の取組み。 ◆周遊促進のためのコーディネート活動。	◆地域のまちづくりと一体となった国道、県道等の整備を進める。 ◆広域的な周遊がより促進されるよう地域での体験プログラムの開発支援に取組んでいく。
「地域の宝」を生かした過疎・中山間地域の振興 地域の宝を活用した元気な地域づくりや定住・二地域居住の推進、農林業の担い手の育成・確保、多様な農林産物の生産拡大などを推進します。	⑥ 地域に息づく歴史・伝統文化などの「地域の宝」の掘り起こしや情報発信により地域のブランド力を高め、地域に対する誇りや愛着が持てる元気な地域づくりを進めるとともに、併せて、情報通信基盤の整備などを促進します。	◆地域コミュニティが、自ら地域再生に取組むようにするための意識の醸成。 ◆自分の地域を知り、機会を捉えて地域の情報を発信していく取組み。	◆地域懇談会の開催を通じて、地域づくりに対する意識啓発を図っていく。 ◆サポート事業や郡山駅前まちなか交流拠点「まざっせプラザ」の活用により、地域が自らをプロデュースし、ＰＲしていく取組みを支援していく。
	⑦ グリーン・ツーリズムや子ども農山漁村交流プロジェクト等との連携などにより、都市住民との交流や定住・二地域居住を推進します。	◆グリーン・ツーリズムや定住・二地域居住では、取組みのPRと受入れ体制の整備。	◆農家民宿や農作業体験、地域文化とのふれあいなどを通じて、グリーン・ツーリズムの推進を図る。 ◆首都圏でのイベントや「ふくしまファンクラブ通信」の活用など、あらゆる機会を捉えて、情報を発信していく。
	⑧ 農林業の多様な担い手の育成・確保を図るとともに、阿武隈高地における遊休農地を放牧利用した肉用牛生産など、多様な農林産物の生産拡大や加工などによる高付加価値化を推進します。	◆農林業の従事者の収益確保。 ◆担い手の育成。 ◆人的交流・連携推進・情報の収集発信やブランド力の強化。	◆就業相談体制や技術支援活動の強化など就業しやすい環境作りを進め、農林業の多様な担い手の育成・確保を図る。 ◆水田のフル活用や園芸や畜産等の生産拡大、栽培技術の高位平準化、機械化や施設化、循環型農業などを推進し、収益の向上を図る。 ◆県中地方・地域産業6次化推進会議を設置し、関係団体及び市町村・県が一体となって、ネットワークの設置やネットワーク交流会の開催等を推進し、高付加価値化を図る。

【県中地域】

施策の展開方向	重点施策	県の評価（概要）	
		施策を推進する上での主な課題	主な今後の取組みの方向性
豊かな自然環境と調和のとれた地域社会の形成 水質改善対策に努めるとともに、環境と共生する農業の推進などにより、人口が集中する都市環境と豊かな自然環境の調和を図ります。	⑨　猪苗代湖や地域を流れる河川などの水環境を保全するため、地域住民や関係団体、市町村と一体となって、人為的な汚濁負荷の削減を始めとした水質改善対策に努めます。	◆県民の水環境保全に関する意識のさらなる向上。 ◆猪苗代湖の水質悪化を防止するための各主体による取組みの充実。	◆猪苗代湖・裏磐梯湖沼水環境保全協議会運営事業等の各種事業の充実に努め、地域住民や関係団体、市町村と一体となった水質改善対策を推進する。
	⑩　生態系や湖水・河川環境に配慮した環境と共生する農業や河川などの整備を推進するとともに、林道網などの基盤整備を図り、間伐などの森林整備を進め、森林の持つ多面的機能の発揮に努めるなど、都市環境と豊かな自然環境の調和を推進します。	◆環境と共生する農業の推進に関する取組みについての県民に対する啓発。 ◆森林資源の利用促進と地域材の安定供給。	◆ホームページや各種イベント等あらゆる機会を通して、環境と共生する農業への県民の理解拡大を図る。 ◆林内路網を整備し、長伐期化や広葉樹林化など、多様な森林整備を図るほか、森林・林業の必要性や重要性の理解拡大のための活動促進を図る。
安全で安心に暮らせる地域社会の形成 救急医療の確保や子育て支援ネットワークの構築など、保健・医療・福祉施策の充実に努めるとともに、生活交通の確保や中心市街地における「持続可能な歩いて暮らせるまちづくり」を推進します。	⑪　地域の実態に即した救急医療の確保や地域全体で子育てを支援するネットワークの構築を図るほか、保健・医療・福祉が相互に連携した質の高いサービスの提供など、保健・医療・福祉施策の充実に努めます。	◆消防機関による傷病者の搬送及び医療機関による受入の円滑化を進めるための地域での合意形成。 ◆それぞれの地域で取り組んでいる子育て活動を拾い上げ、他の地域に紹介するなど、より広域的な波及。	◆緊急度の低い患者の受診により救急医療の提供に支障をきたすことがないよう救急医療機関等の適正な受診の普及啓発に努めていく。 ◆行政と関係団体が広く連携し、地域全体で子育てを支援するネットワークの構築を目指す。
	⑫　地域住民が利用しやすい生活交通の確保に努めるとともに、中心市街地においては「持続可能な歩いて暮らせるまちづくり」を推進します。	◆公共交通の利用促進や地域住民が利用しやすい交通体系の整備。 ◆市町村や関係団体等が行うまちなかの賑わいづくりとの協力・連携。	◆地域住民が利用しやすい生活交通の確保に努めるとともに、中心市街地においては「持続可能な歩いて暮らせるまちづくり」を推進していく。